

## 第2回酵素応用シンポジウム

平成13年6月1日(金) 名鉄ニューグランドホテル

演題1：遺伝子組換え技術を用いた光学活性アルコール生産システムの開発

片岡 道彦(京都大学大学院 農学研究科 助教授)

演題2：生理活性物質生産に有用な放線菌由来新規環状ジペプチド脱水素酵素系

神崎 浩(岡山大学大学院 自然科学研究科 助教授)

演題1～2座長/熊谷 英彦(京都大学大学院 生命科学研究科 教授)

演題3：物質生産のためのニトリラーゼの機能解析および遺伝子プロモーター開発

小林 達彦(筑波大学 応用生物化学系 教授)

演題4：活性型硫黄と活性型セレンのバイオジェネシスに関する酵素群の開発

三原 久明(京都大学 化学研究所生体分子機能研究部門 助手)

演題3～4座長/魚住 武司(明治大学 農学部生命科学科 教授)

演題5：炭酸固定を触媒する微生物脱炭酸酵素によるCO<sub>2</sub>の分子変換

吉田 豊和(岐阜大学 工学部生命工学科 助教授)

演題6：Amano New Speciality Enzyme, Protein-glutaminase: Possible Applications in Food Industry

山口庄太郎(天野エンザイム 食品事業部)

演題5～6座長/清水 昌(京都大学大学院 農学研究科 教授)

演題7：〔特別講演〕発酵学から生命工学へ

別府 輝彦(日本大学 生物資源科学部 教授)

演題7座長/堀之内末治(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)